

2010年3月1日号
(平成22年)

No.106

3-1

特集

春遠からじ…

小正月行事にかける想い

2
～
7

主な内容

『食と農』フォーラム ⑧ 読書感想文コンクールほか ⑨ ⑩ 地域の話 ⑪ 巧
情報・いどばたプラザ ⑬ ⑭ えがおの交差点 ⑮ ⑯ 読者の声 ⑰ ⑱ 巧 ⑲ ⑳

『幻灯』が冬の夜を演出

2月13・14日、市内でも特に雪深い地域で知られる増田の狙半内（さるはんない）で、地域住民の手作りイベント『幻灯』が行われました。約10kmの沿道に3千個のろうそくが灯され、二夜限りのメルヘンロードが訪れる人を幻想的な世界へと誘いました。



旭岡山神社ぼんでん奉納



木戸五郎兵衛村でのかまくら撮影会

雪国の小正月——それは詩情豊かな冬の民俗行事

小正月とは、本来は正月の望の日（満月の日＝旧暦1月15日）のことで、元日を大正月と呼ぶのに対する呼び方です。今年の暦に当てはめると、2月14日が元日で、小正月は2月28日になります。

年神や祖先の霊を迎える行事が多い大正月に対し、小正月は豊作祈願などの農業に関連した行事や地域的な行事が多いのが特徴。また、小正月行事には、子どもが活躍するものが多く、子どもたちが籠もるための正月小屋を作る地方もあり、子どもたちはこの中で餅を焼いて食べたり、鳥追いの歌を唄ったりする風習があるといえます。

まさに、雪国の小正月行事の代表格ともいえる『横手のかまくら』。正月小屋の役割を果たす雪室（かまくら）には豊作を祈願する水神様が祀られ、子どもたちが餅や甘酒でお客様を温かく迎えます。

そして、各地で行われるぼんでん奉納での、激しいぶつかり合いは、間近に迫った春への期待が込められたもの。ここにも、雪国ならではの風情があります。



横手公園のすそつきかまくら



横手南小学校のミニかまくら



今年も雪国・横手の冬を彩る小正月行事が、各地で行われました。

秋田の冬を代表する幻想的なかまくらや勇壮なぼんでん——『横手の雪まつり』には、今年も多くの観光客が訪れ、詩情あふれる雪国の風情を楽しみました。

横手の観光の目玉ともいえるこれらの行事に、人々はどんな気持ちで託しているのでしょうか。

小正月行事に込められた「想い」を、改めて温ねてみました。

春遠からじ…

小正月行事にかける想い

羽黒町武家屋敷通り

特集 春遠からじ… 小正月行事にける想い



今年は秋田ふるさと村ドーム劇場で行われたぼんでん唄コンクール。(2月7日)



長い参道を抜け、ぼんでんが神社前の坂を一気に駆け上がります。



小若ぼんでんも15本が参加。子どもたちにも伝統は引き継がれています。



「ジョヤサー、ジョヤサー」と威勢のよい声が響く境内。



永建会

特選
秋田県知事賞
厚木市長賞・遠野市長賞

ぼんでん
コンクール
2月16日



石町信和会

一等
秋田県議会
議長賞
花巻市長賞



安田原昭利会



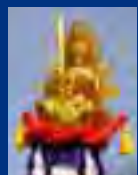
横手シャークス



朝倉礎



栄友和会



東北電力ぼんでん会



J A 秋田ふるさと
横手中央青年部



旭川町内会



タブロス(株)

ぼんでんへの想い

伝統と地域をつなぐ行事であり続けたい

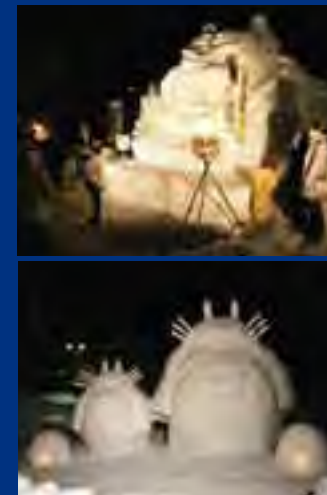


ぼんでん委員長
若松 明さん

ぼんでん奉納は、家内や町内の安全、五穀豊穡などを願って行われますが、寒さの厳しいこの時期に、小正月行事として行われることに意味があると思います。この一年の安寧や間もなく訪れる春への期待を込めて続けてきたものだからです。曜日に関係なく、2月17日という開催日を守るのも、伝統を重んじることで、何の目的でやるのかを伝えていきたいという思いがあるからです。

一方で、年々新しいアイデアが競われる頭飾りが示すように、見る人、参加する人が楽しめるお祭りとして、時代の流れも酌んでいく必要もあります。町内や仲間同士で、あれこれと相談しながらぼんでんを作り上げることは、つながりが薄れていると言われる地域の親睦を保つ役割も果たし、また町内を越えた付き合いやつながりを生んでいると思います。

伝統と祭りの楽しさを調和させながら、このつながりがずっと続いていくことを願っています。



『雪の芸術』には市内から7件の参加があり、アイデア満載の雪像が来場者を楽しませました。写真は、光明寺公園に作られた雪像です。



昨年に続き設けられた衛生看護学院かまくら。学生さんたちの明るい声が響きました。



かまぐらの屋根の部分に簀を載せた昔ながらの雪室『とりごや』。6畳ほどの広さがあり、中学生がお餅や甘酒を振る舞ってとてもなしました。(金沢『とりごや村』・2月13日)



『かまぐらin木戸五郎兵衛村』には遠方からの観光客が多く訪れ、古民家をバックにした風情ある景色をカメラに収めたり、坂滑りなどの雪遊びを楽しんだりしていました。



明海大学の留学生10人がかまぐらの時期に合わせてホームステイ。雪国のホットな暮らしを体験しました。



ミニかまぐらが織りなす幻想的な光景が、観光客を楽しませました。

かまぐらへの想い

伝えていきたい、人を温かく迎える雪国の心



かまぐら委員
平田 容子さん

平成11年から昨年まで行われていた、2月14日の『ウェルカムかまぐら』を、ずっと担当してきました。せっかく職人さんたちが作り上げてくれた情緒ある雪国の風情を、少しでも長く、より多くの人に楽しんでもらいたいとの思いから始まったものですが、横手南小学校や鳳中学校の子どもさんたちやその保護者、先生をはじめ、本当に多くの方々との協力に支えられてきました。

私自身、子どもの頃にかまぐらに入り、この行事がなければ出会はずのなかった人との出会い、子ども心にその人が住む南国の暮らしを想像してみたり、写真やお土産を送ってもらったり、という忘れられない思い出を得ることができました。子どもたちにはそんな素敵な体験を通して、雪国に暮らす人の温かさや、人を温かく迎える心を育んでくれたらいいなと思います。それが、私たちが受け継いでいくべき、かまぐらの心。だと私は思っています。

雪国の力強さは今年も健在。今年のぼんでんコンクールは、例年になく晴天に恵まれた中、干支の寅を中心に勇猛かつきらびやかなぼんでんが多く出品されました。

ぼんでん奉納も、天候は落ち着いていたものの、気温が低く参道を覆う雪が粉状になり、旭岡山神社までは険しい道のり。奉納者たちは、それをものともせず神社に駆け上がり、声も勇ましく激しいもみ合いを繰り広げました。雪国に暮らす人々の力強さを示す、勇壮なぶつかり合いは今年も健在でした。

昔ながらの風情を醸し出す『すそつきかまぐら』が復活。今年は、昔ながらの風情を漂わせる『すそつき』のかまぐらが市内各所で復活。新旧それぞれの趣で、見る人の目を楽しませました。

すそつきのついたかまぐらは、間口も馬の蹄型で広く、昭和30年代から40年代にかけて主流だったスタイル。よくかまぐらの挿絵などで描かれる形ですが、天井部分が薄いことや、幅広のため人や車などの往来で崩れやすいことから管理が難しく、しだいに側面が切り立った天井の厚い形に、姿を変えていきました。

職人が作るかまぐらの数が年々増え、管理しやすい現代型のかまぐらが定着する一方で、雪まつりを司る『雪ゆきまつり委員』からは「昔ながらの風情あるかまぐらを見せたい」との声が数年前から上がっていたといいます。その思いを形にするため、一部の会場で『すそつき』が復活し、横手公園や木戸五郎兵衛村などの情景が作られました。

今年の『横手の雪まつり』は、前夜祭の『かまぐらdeナイト』を除くと日程が平日でした。そのため、かまぐら本番の来

特集 春遠からじ…
小正月行事にける想い



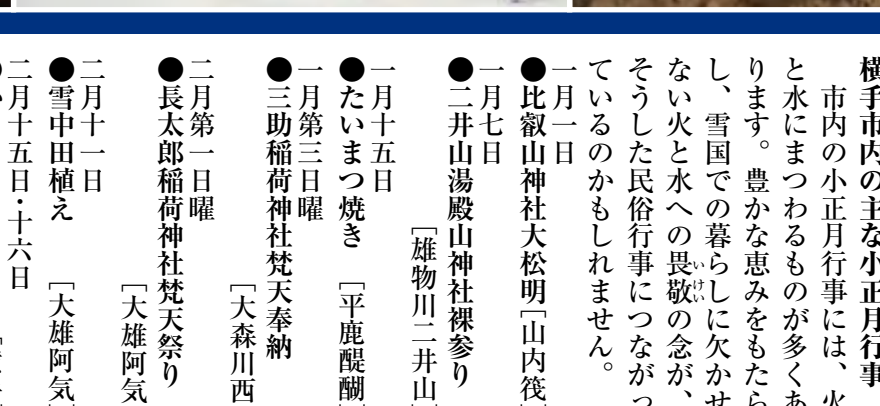
※この3行事の写真は昨年のものです

(写真上から) 三所神社ぼんでんまつり(増田町増田) 梨の木水かぶり(十文字町梨木) 木戸五郎兵衛神社初午祭り(雄物川町沼館)

たいまつ焼き(平鹿町醍醐)



たいまつ焼きの由来
上醍醐と金屋の両集落で、江戸時代から三百年以上続く小正月の行事として、主に五穀豊穡と無病息災を祈り、毎年一月十五日に行われている。そのはじまりは、上醍醐に刀鍛冶、金屋には弓矢職人がいて、互いに火の神をまつり参拝しあつたことに由来すると言われる。大たいまつは、上醍醐は燈明の芯を表すように細長く、金屋は燈明の台を表すぐり型に作られる。女人禁制で、女性はたいまつはもとより、それを作るのにも触れることができないとされたとされる。



豊かな実りと
人々の安寧への
祈りを込めて
市内各地の小正月行事

たいまつ焼きへの想い
伝統と支え合う気持ちをつなぐ



金屋自治会長
神坂 勝治 さん
う声はなく、
それだけ地域
がまとまる上
で大きな役割
を果たしてい
るのだと思っ
ています。



上醍醐地域資源保全
活動組織代表
奥 勝也 さん
かつては、
各家で競い
合ってた大
たいまつを
作っていた
時代もあり
ましたが、
30年ほど
前には一度
廃れかけた
ことがあり、
集落で話し
合ってた何
とか盛り返
して今日に
至っています。
わら集めたい
へんな時代
ですが、縄
やとばなど
の細工の技
術を伝承す
ることも必
要です。そ
して、集落
で集まって
ひとつのこ
とをやり遂
げるといふ
気持ちが、
この行事を
続ける大き
な意味だと思
います。

横手市内の主な小正月行事
市内の小正月行事には、火と水にまつわるものが多くあります。豊かな恵みをもたらす、雪国での暮らしに欠かせない火と水への畏敬の念が、そうした民俗行事につながっているのかもしれない。

- 一月一日 比叡山神社大松明「山内筏」
- 一月七日 二井山湯殿山神社裸参り「雄物川二井山」
- 一月十五日 たいまつ焼き「平鹿醍醐」
- 一月第三日曜 三助稲荷神社梵天奉納「大森川西」
- 二月第一日曜 長太郎稲荷神社梵天祭り「大雄阿気」
- 二月十一日 雪中田植え「大雄阿気」
- 二月十五日・十六日 かまくら「横手」
- 二月十七日 旭岡山神社梵天奉納「横手」
- 二月十八日 金澤八幡宮梵天祭り「横手金沢」
- 二月第三日曜 三所神社ぼんでんまつり「増田」
- 梨の木水かぶり「十文字梨木」
- 三月 木戸五郎兵衛神社初午祭り「雄物川沼館」

厳しい寒さ乗り越える地域のつながりを生む小正月行事
雪国らしい情緒が漂う、横手市内各地の小正月行事。時には雪国に暮らす人々の心の温かさを、そして時には厳しい寒さの中で生活している力強さを見せています。

小正月行事は、いずれもその地域に暮らす人々の支え合いによって長く伝えられてきた大切な文化です。その伝統を守り、伝えていくことは、先人たちが受け継いだ風習を継承することで地域社会のコミュニティを醸成し、次代につなげていく役割を担っていることを、行事に関わる多くのの方々から感じました。

それぞれに発祥の由来や行事の成り立ちは違いますが、小正月行事を象徴する酒や餅、それにわらなど、この地方の暮らしが雪とともに稲作と深い関わりの中にあることがうかがえます。

冬来たりなば春遠からじ。雪におおわれた季節に、間もなく終わりが告げられます。今は大地や山を覆う雪が、豊かな恵みをもたらしてくれることに期待を寄せて、今年の小正月行事を無事に終えたみなさんとともに、春の訪れを待ちたいと思います。



教育長に受賞報告に訪れた、渡部京香さん(右)と高橋京佑くん(左)

高橋くんが読んだ本



(くも出版)

* 渡部京香さんの感想文は、青少年読書感想文全国コンクールのホームページに掲載されています。(http://www.dokusyokansoubun.jp)

2人が読んだ本を紹介します

渡部さんが読んだ本



(岩波書店)

第55回青少年読書感想文全国コンクール

渡部京香さん(金沢中2年)が 内閣総理大臣賞を受賞

高橋京佑くん(十文字第一小6年)には
文部科学大臣奨励賞

第55回青少年読書感想文全国コンクールで、金沢中学校2年の渡部京香さんが『科学の火を灯して』で最高賞の内閣総理大臣賞に輝きました。また、十文字第一小学校6年の高橋京佑くんは『僕とロボット』で文部科学大臣奨励賞を受賞しました。同コンクールは小学校低学年、中学年、高学年、中学校、高校、勤労青少年の計6部門あり、442万編以上の応募の中から、県審査を通過した750作品について中央審査が行われました。

の文部科学大臣奨励賞を小学校5年、中学校1年時に、毎日新聞社賞を小学校6年時に受賞。高橋くんも、小学校2年の時に全国学校図書館協議会長賞を受賞しています。渡部さんが読んだ本は『雪は天からの手紙・中谷宇吉郎エッセイ集』で、本の表紙に描かれた雪華図(雪の結晶)にひかれ、生涯を通じて雪と氷の研究を続け、雪の中に科学の本質を見つけたようとした筆者が伝えたかったことを感想文にまとめました。一カ月に5冊から6冊の本を読むという渡部さんは「これからは大好きな理科の研究を続け、みんなの役に立てるよう、将来は医者を目指して頑張りたい」と話していました。高橋くんの読んだ本は『友だちロボットがやってくる。みんなのまわりにロボットがいる未来』で、筆者の考えと自分の経験をもとに、進化するロボットと弟の成長を重ね合わせた感想文で表現。読書量は週に2、3冊という大の好きの一方、地元のサッカーチームにも所属する文武両道の高橋くん。「来年もまたコンクールにチャレンジしたいです」と話していました。

第十二回「雪をうたう」 市民俳句大会

黒田杏子先生選

【幼児・小学生部門】

「雪空は心にしみる色なのだ」

佐藤穂高(吉田小6年)

「かまくらにはいる子どものえがおよし」

佐々木知也(大森小4年)

「おじいちゃんおちやだめだよ雪下し」

齊藤早紀(吉田小4年)

【中学・高校生部門】

「かまくらの中でほえむ子供たち」

黒沢みのり(十文字中1年)

「目にかぶ自分がやってくる雪かき」

眞壁慶英(横手南中3年)

「十六回初雪見たのにまだ興奮」

高橋果那(横手高1年)

【一般部門】

「犬つれて新雪の上二番のり」

岩谷フサ恵(増田)

「雪下し爺さまやめると触れ回る」

明沢榮子(横手)

「いぶりがっこ売るてふ囃雪に座し」

益子的風(増田)

秀逸

【幼・小部門】

「松浦雄太(大森小6年)」、佐藤聖衣莉(吉田小3年)、「今野悠人(十文字第二小6年)」、たかはしゆうと(大森小1年)、「伊藤葉月(朝倉小6年)」

【中・高部門】

佐藤祐花(十文字中3年)、「鈴木敦也(大森中1年)」、加賀谷聖美(横手南中3年)、「和泉かりん(横手南中1年)」、渡部莉子(横手清陵中2年)

【一般部門】

佐藤晃一(十文字)、「松井敏博(横手)」、「今田聡(十文字)」、「岸共(大森)」、「佐藤侃(雄物川)」

秀逸

【幼・小部門】

「渋谷南心(境町小5年)」、「古瀬加恵(旭小4年)」、「小田嶋恵里奈(横手高2年)」

【中・高部門】

「佐々木ひとみ(横手高1年)」、「佐藤小夏(横手高1年)」、「尾久はなこ(横手高1年)」、「高橋由紀(横手高1年)」、「高橋理菜(横手高1年)」

【一般部門】

「佐藤晃一(十文字)」、「山崎勝重(横手)」、「片倉弓(増田)」、「小野寺義太郎(増田)」、「富田シツエ(横手)」

中原道夫先生選

【幼児・小学生部門】

「雪道で長靴たちのミュージカル」

伊藤毅(金沢小6年)

「太陽がのららの中でおどつてる」

鈴木貴子(横手南小2年)

「自分もね手ぶくろほうし雪囲」

小國康(十文字第一小6年)

【中学・高校生部門】

「この雪はあたたかい手に積もりたい」

柿崎知磨(横手清陵中2年)

「ふるさとの雪道越えて出世する」

小田嶋恵里奈(横手高2年)

「忘れるなこの世に止まぬ雪はな」

齋藤瑞生(横手高2年)

【一般部門】

「吹雪く朝旋風曲がりが生れけり」

伊藤和夫(増田)

「新しい年も生きよと猛吹雪」

宮野榮子(横手)

「大雪を日銭稼ぎの財と言ふ」

山崎政子(横手)



1 地産地消に取り組むチーム・プラスYの優良活動者を表彰 2 展示や試食・試飲を楽しむ参加者 3 チーム・プラスYの優良事例を発表する横手西中学校の生徒たち 4 小泉武夫氏が大いに「発酵」について語った記念講演 5 様々な取り組みが報告されたパネルディスカッション



地域の強みを活かそう

「発酵」と地産地消を切り口に 『食と農からのまちづくり』を展望

2月12日、『食と農』フォーラムin横手が横手セントラルホテルで開催されました。今回のテーマは「発酵」と「地産地消」。今年度から始まった地産地消を進めるチーム・プラスY活動の参加者をはじめ『食と農からのまちづくり』に関心を持つ市民など200人あまりが参加しました。

開会にあたり、五十嵐市長が「チーム・プラスYには多くの団体・個人に参加していただきありがたい。食と農を大切に、発展させる使命を感じている」とあいさつしたあと、チーム・プラスYで優れた地産地消活動に取り組んだ9団体を表彰。このうち、横手西中学校と特別養護老人ホーム憩寿園が活動内容を発表しました。

横手西中の『プラスY宣言』は「総合的な学習で食と農を学び、地元の良さを発見します」というもの。学校給食用のホウレンソウの収穫体験や地元野菜を使ったおやつレシ

2009年度チーム・プラスYベストナ(優良活動表彰者)

優良賞(8団体)

- 市立横手西中学校
- 栄養満点(憩寿園)
- 県立横手清陵学院高等学校家庭クラブ 横手未来創造若者の会
- 県立増田高等学校農業クラブ

ユニーク賞(1団体)

- 渡部工業(有)

※各団体の宣言や活動の内容は、ホームページで紹介しています。

- 市立黒川小学校
- 横手セントラルホテル(株)
- 東北農政局平鹿平野農業水利事業所
- 「よこての食べかた」実行委員会



表彰者には、賞状と横手の特産品が贈られました



食と農からのまちづくりプロジェクト
http://www.syoku-yokote.com/

フォーラムの詳細は『食と農からのまちづくり』のホームページに掲載する予定です。

年金

会社を退職した方へ
国民年金の手続きはお済みですか

厚生年金や共済年金に加入していた方で60歳になる前に退職(失業)された方、または退職した方に扶養されていた60歳未満の配偶者の方は、国民年金への加入手続きが必要になります。

◆**手続方法**

印鑑、年金手帳、退職した日付のわかるもの(離職票、社会保険喪失証明書等)、保険料の口座振替を希望される場合は預金通帳と預金通帳届出印を持参し、各地域局年金担当窓口までお越しください。

【退職時の特例免除制度】

保険料の納付が困難な場合、保険料を免除する制度があります。この免除制度では、申請者・世帯主・配偶者の前年度所得が審査対象となり、承認された場合は保険料が免除になります。

退職時の特例免除制度では、退職した本人の前年度所得を除いて審査するため、免除が受けやすくなります。(配偶者・世帯主が退職された場合も対象)

◆**問合せ**

市福祉環境部国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2186

奨学金

ご利用ください! 「よねや育英資金」修学貸付制度

「よねや育英資金」修学貸付制度をご利用ください。
◆**申込資格** 今春、高等学校または大学等に入学を予定している方で、次の条件をすべて満たしていること

- ①学費の支出が困難な家庭の方
- ②申請者(生徒)が横手市内に現に住所を有し、または有していた方
- ③保護者が現に横手市内に住所を有している方

◆**貸付金額** ・修学貸付金
(無利子) 高等学校等 月額18,000円以内
・就学支度金
高等学校等 100,000円以内
大学等(専門・短大含む) 500,000円以内

◆**定員** 4~5人程度(選考委員会で貸付けを決定)

◆**申込期間** 3月1日(月)~3月17日(水) 必着

●よねや育英資金は他の奨学金制度と併願ができます。各種奨学金については、市報よこて2月15日号をご確認ください。

採用

平成22年4月採用
市立大森病院職員を募集します



- ◆**職種・採用予定人数** 薬剤師 1名
- ◆**受験資格**
 - ・採用後、通勤に支障のない範囲に居住できる方
 - ・職種に必要な免許を有する方、または平成22年3月までに実施される国家試験により免許取得見込みの方
- ◆**採用予定年月日** 平成22年4月1日
- ◆**試験期日** 3月20日(土)／市立大森病院
- ◆**受付期限** 3月15日(月)必着
- ◆**申込み** 〒013-0525 横手市大森町字菅生田245-205 市立大森病院総務課 ☎0182-26-2141

※試験案内・申込用紙は、市立大森病院にあります。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、宛先を明記して120円切手を貼った返信用封筒(角型2号)を同封のうえ、市立大森病院総務課にお送りください。申込用紙等は市立大森病院ホームページからもダウンロードできます。



県立衛生看護学院

◆**申込方法** 申請書類はよねや育英会事務局に用意しています。または、市ホームページにも掲載していますので、育英資金貸付願に必要事項を記入し、合格通知書、所得証明書等の書類を添えて、下記の申込先へ提出してください。

◆**申込先** よねや育英会事務局 ☎35-2133
市福祉環境部子育て支援課内(大森庁舎内)

一生忘れない、十中の思い出

十文字中学校で閉校式典

2月7日、十文字中学校の閉校式典が同校体育館で行われました。式典には在校生や卒業生、保護者などおよそ450人が出席しました。

はじめに、五十嵐市長は「十文字中学校は長い歴史の中で、数々の研究指定における授業改善の先進的取り組みや、男子バレーボール部の全国大会優勝など『文武両道』の営みを続け、生徒たちの豊かな人間性を形成する学び舎でした。新生十文字中学校でも、今まで培われた歴史と伝統が受け継がれ、発展するよう願います」とあいさつ。



「旅立ちの日に」を合唱する生徒たち

木村孝孝校長は「校訓の『春風秋霜』を、閉校後も自分を励ます言葉として大切にして欲しい」と述べました。生徒を代表して生徒会長の石田淳くんが「勉強に励み、部活動で汗を流し、数え切れない思い出を作ることができました。校歌を歌うたびに十中生で良かったと思います。全校生徒255人と卒業生1万1131人を代表して、この言葉を贈ります。ありがとうございます。そして、さようなら。十文字中学校で過ごした感動の日々を私たちは一生忘れません」と別れの言葉を述べ、その後、生徒全員で『旅立ちの日に』を高らかに合唱。生徒たちの力強い歌声に、出席者から体育館いっぱいの拍手が送られました。



市長から消防団協力事業所の表示証を交付された齋藤社長(左)と吉田社長(右)

市では、平成21年度から消防団員の減少に歯止めをかけようと消防団協力事業所表示

安全安心活動での連携図る

横手市消防団協力事業所表示証を交付

この制度で市内初の認定事業所となったのは、伊藤建設工業株式会社(齋藤実社長・横手)と株式会社吉田建設(吉田博行社長・雄物川)の2社。交付式では、五十嵐市長が「横手市は県内最大の消防団員を擁しているが、それでも団員の減少に悩まされている。2社はそれぞれ7人の団員が所属していると聞き非

常に心強い。今後も、市の安全安心活動に協力をお願いしたい」とあいさつし、両社長に交付証を手渡しました。両社長は「地域に必要とされる企業を目指し、協力事業所として連絡体制などを整えていきたい」と話し、協力を誓いました。

2月16日現在、制度に認定されたそのほかの事業所は、次のとおりです。(交付順)
▽(株)高作(十文字)▽有藤原建材店(増田)▽横手建設(横手)▽(株)西山製作所(秋田工場)(雄物川)▽おものがわ農業協同組合(雄物川)▽秋田ナイルス(株)(雄物川)▽増田物産流通センター(増田)

わたしたち
秋大生が山内で作った
いぶりがっこはいかが?



市と秋田大学との連携事業の一環として、秋田大学の学生たちが山内地域の方々の協力を得て、大根の栽培から収穫、いぶし、漬け込みまでを行った『いぶりがっこ』が完成しました。

学生たちは、昨年9月に山内三又地区の高橋登さんの畑を借りて種をまき、11月には約500本の大根を収穫。それを高橋さん方でいぶし、漬け込みを行った後、1月21日に樽開けして味を確認した上でパック詰めしました。

地元も含め「みんなで力を合わせて手作りした」との思いを込め『いぶりがっこ』と命名。パッケージのデザインも自分たちで考えた自信作は、同大の生協売店で限定販売され即日完売しました。

この秋大生渾身の逸品が、今回の読者プレゼントに提供されました。応募方法等は、23号をご覧ください。



健康は食生活の改善から

■健康づくりボランティア養成講座(横手)

2月9日、健康づくりボランティア養成講座が旭公民館で開催されました。これは、健康づくりや食生活の改善を地域で積極的に普及するボランティアを養成するため、市保健衛生課が開いたもの。横手・山内地域の方を対象に5回の講座を行い、20人が参加しました。

講座では、減塩啓発普及事業の取り組みや県の食生活指針、食事バランスガイド、骨粗しょう症など生活習慣病予防の講習を受けました。また、楽しく身体を動かす軽体操や家から持参した味噌汁の塩分測定、菌により料理の調理実習などを行いました。

閉校式では、受講者一人ひとりに修了証書を交付。5回の講座を終えた受講者からは「回を重ねるごとに貴重な勉強をさせてもらった。日頃、減塩には注意をしていたが、思った以上に塩分を摂っていることを実感することができた。講座の内容を地域のみなさんに教えていきたい」などの感想が聞かれました。



野菜をふんだんに使った卵焼きの料理講習



味噌汁の塩分測定をする受講生



受講者一人ひとりに修了証書を交付

横手の元気印

増田Jrソフトテニススポ少から3組が全国へ

第9回全国小学生ソフトテニス大会に出場

11月15日に開催された、『秋田県小学校インドアソフトテニス大会』に出場した増田Jrソフトテニススポ少。小学4年生以下のダブルス部門で、優勝・準優勝・4位の好成績をあげました。同大会は千葉県で3月30・31日に行われる『第9回全国小学生ソフトテニス大会』の予選を兼ねており、各部門の上位4組が全国大会に出場します。

優勝ペアのひとり、沼沢亜美さんは「初めての全国大会なので、試合であがらないようにふたりで声を出し合いたい。ファーストサービスを入れて、自分たちのペースで試合をしたい」と話し、同じく阿部奏絵さんは「得意のトップスピンで相手を動かし、1勝を目指して頑張りたい」と抱負を語っていました。



写真左から
優勝：沼沢亜美さん 阿部奏絵さん
準優勝：山田彩未さん 金綾音さん
4位：高橋琉羽さん 藤原なるみさん



練習終了後、監督の話しを聞く同スポ少のメンバー

先進事例に学ぶ地域づくり講演会(増田)



増田地域センター運営協議会主催の地域づくり講演会が、2月13日に増田地区多目的センターで開催されました。講師で群馬県立女子大学の佐々木尚毅教授は「持続可能な地域づくりの要件は、住民が主体となり熱意・創意・誠意を持って地域に根ざした活動をする」と先進事例を紹介しながら講演しました。

横手養護学校でやきそば交流会(横手)



2月10日、横手養護学校でやきそば交流会が開催されました。昨年のB・1グランプリ優勝を記念して、横手やきそば職人の会が企画したもの。児童・生徒たちは、職人がやきそばを作る様子を見学したり、横手やきそば研究会が持参した『やきっぱ』人形と記念撮影したあと、熱々のやきそばを食べ満足そうでした。

冬の空にチビッコの歓声響く

■大雄子どもフェスティバル2010(大雄)

1月30日、大雄子どもフェスティバルが大雄交流研修館『ふれあいホール』周辺で開催されました。

これは、子どもたちに雪国ならではの遊びや日頃の生涯学習の成果を披露する機会を持つと、毎年行われているもの。縁起物の餅つきで幕を開けた屋内イベントでは、けん玉やコマなどの昔遊びや工作、子育てサークルによるバザーなどでにぎわいました。屋外では、坂滑りやスノーモービルなどを楽しんだほか、野球場の雪の中に埋められたカードを掘り当てると、様々な景品と交換できる『雪中宝探し』が人気を集めていました。

また、地元・大雄中学校の生徒たちが企画段階から参加しているのも特徴のひとつで、各コーナーでの誘導や遊びの指導のほか、ステージイベントでは司会も務め、和やかな雰囲気を演出。そのステージ上では、創作太鼓や手話が発表されたほか、チビッコカラオケ大会には保育園児から中学生まで6組が出場し、楽しいパフォーマンスが繰り広げられました。



スピード感とスリル満点のスノーモービルは子どもたちに大人気



チビッコたちも餅つきを体験



迫力ある演技を披露した大雄太鼓

寒さなんて吹き飛ばせ～！

■マムチャサロン冬まつり(横手)

2月7日、わんぱく館(南町)の子育てサロン『マムチャサロン』主催の冬まつりが同館で開かれ、多くの親子連れや地域住民でにぎわいました。

これは、子どもたちに冬でも元気いっぱい遊んでもらおうと企画されたもので今年で2回目。参加者は、お父さんスタッフが作った雪のジャンボすべり台でソリ遊びをしたり、色水を使ったミニかまくら作りなどをして楽しみました。

やっぱり子どもは風の子。ほっぺを赤らめながら、最後まで元気いっぱいに走り回る子どもたちの姿が印象的でした。



ミニかまくらをカラフルにアレンジ

雪を知り、雪とともに生きる(横手)



2月7日、秋田ふるさと村を会場に『かんじきウォーキング』が行われ、約50人の参加者が雪原の散策を楽しみました。これは、雪と親しむことを目的に平成15年から続く人気イベント。会場では、ポニーの馬そりやウサギとのふれあいコーナー、縄ない体験なども行われ、雪国ならではの遊びを満喫していました。

市立図書館『教養講座』(十文字)



1月30日、市立図書館教養講座(全4回の最終回)が道の駅十文字で開催されました。地域活性化のきっかけにしようと、秋田大学の小松田儀貞准教授が講演。「コミュニケーションを大切にし、地域の自然や風土、人間、文化をもう一度みんなで話し合う中で、新たな可能性につながるヒントが見つかる」と話しました。

いどばたプラザ

idobata plaza

「いどばたプラザ」は、市民団体やNPOなど行政以外からのお知らせを掲載するコーナーです。掲載を希望する場合は、発行日の15日前までに内容がわかるものをお寄せください。なお、内容や情報量などによって、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

パークゴルフで健康づくりを始めませんか！
誰でも楽しめる、マナー重視のニュースポーツです。
●日時／毎月第2土曜日、午前9時～ ●場所／雁の里山本公園ほか ●年会費／2,000円 ●問合せ／横手市パークゴルフ協会 小林さん ☎080-1819-1815

南部シルバーエリア イベント案内
【春の押し花・花絵展（かまくら押し花倶楽部作品）】
●期間／3月5日（金）～28日（日）、午前9時～午後5時 ●入場料／無料 ●問合せ／南部シルバーエリア ☎26-3880

横手おやこ劇場『第67回鑑賞活動』
劇団風の子秋田による『あそぼパートⅡはる・なつ・あき・ふゆ』を公演します。
●日時／3月8日（月）午後7時～※上演時間60分 ●場所／かまくら館 ●会費／入会金200円、月会費800円（4歳未満無料） ●問合せ／横手おやこ劇場 ☎33-0812（火曜・金曜、午前10時30分～午後2時30分）

歌の好きな人集まれ ～思いっきり歌声喫茶～
●日時／3月11日（木）午後7時開演 ●場所／煉瓦屋（寿町） ●参加費／1,000円（軽食付） ●予定曲／世界に一つだけの花など20曲以上を予定 ●問合せ／煉瓦屋 ☎33-2811

ディンプルアート（ステンド風 不思議塗り絵）教室
●日時・場所／①3月11日（木）午後1時～、醍醐公民館 ②3月14日（日）午前9時～、午後1時～、かまくら館 ●参加費／2,000円（材料代等） ●定員／各10人程度 ●問合せ／ディンプルアート秋田県南事務局 一戸さん ☎25-3560

小中学校保護者のみなさまへ
学校給食費の納付はお済みですか

◆今年度の給食費の口座振替は1月25日で終了となりました。口座振替ができなかった方、納付書を紛失された方には納付書を発行しますのでご連絡ください。

◆平成22年度給食費の納付方法・口座変更を希望する方もご連絡ください。

◆問合せ／市教育委員会学校教育課（雄物川学校給食センター）☎22-5385



横手山岳協会『第16回山の写真展』
県内外の山岳風景や高山植物の写真約80点を展示します。
●期間／3月12日（金）～14日（日）、午前9時～午後5時（14日は午後4時まで） ●場所／かまくら館 ●入場料／無料 ●問合せ／横手山岳協会 高橋さん ☎32-8696

みんなでアタック!! 第5回春の市民バレー交流会
年齢・性別の違いや障がいを超えて、日ごろの運動不足をバレーボールで解消しませんか。
●日時／3月13日（土）午前9時～午後4時 ●場所／横手体育館 ●参加費／1チーム2,000円（保険料込） ●申込期限／3月8日（月） ●申込み／地域生活支援センターのぞみ ☎35-5781

プリザーブドフラワー教室『天使のテラコッタアレンジ』
●日時／3月24日（水）午後1時30分～ ●場所／あさくら館 ●参加費／2,800円（材料代） ●定員／5人 ●申込み／藤王さん ☎090-7064-5602

あきた結婚支援センター開所記念応援イベント
『パスタで婚活!』料理コンテスト

婚活イベントに参加した方々がペアになり、自慢のパスタを作ってもらいます。
優勝ペアには現金2万円と食事券1万円を贈呈。

◆日時／3月14日（日）正午～ ◆参加費／男女共1,000円
◆場所／十文字町「ナンの館」 ◆申込期限／3月8日（月）
◆申込方法／氏名・年齢・性別・住所・職業・趣味・当日作りたいパスタ料理を記入のうえ、ファクスかメールで申し込み
◆申込み／『日本一住みよい県にする会』石橋さん ☎・☎42-2130、Eメール：nannoyakata@yahoo.co.jp

市県民税の申告は3月15日までです

市県民税の申告相談が2月1日から始まっています。『申告相談日程表』（1月15日号の市報に折込）を確認のうえ、忘れずに**3月15日（月）**までに申告してください。未申告の方は、市税の軽減や減免を受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。

申告相談地区割り当て日に申告相談を受けられなかった方は、最寄りの地域局の申告相談日を確認のうえ、お早めに申告してください。申告相談日の日程が不明な方は、下記の各税務担当課へお問い合わせください。

横手地域：財務部市民税課（☎32-2510）	大森地域：地域振興課（☎26-2111）
増田地域：地域振興課（☎45-5510）	十文字地域：地域振興課（☎42-5114）
平鹿地域：地域振興課（☎24-1283）	山内地域：地域振興課（☎53-2111）
雄物川地域：地域振興課（☎22-2111）	大雄地域：地域振興課（☎52-2111）

講座 脳いきいき講座（全2回）
年をとってもいきいきと暮らす秘訣や、楽しみながら脳を使う方法を学習する講座です。
●日時／3月11日（木）・18日（木）午前10時～午後3時
●場所／横手保健センター
●定員／先着15人
●参加費／500円（弁当代）
●申込期限／3月9日（火）
●申込み／横手保健センター ☎33・9600

お知らせ 住宅建設・購入費用の補助のお知らせ
【住宅リフォーム緊急支援事業】
住宅の増改築・リフォーム工事（50万円以上）を行う方を対象に、工事費の10%（20万円を上限）を補助します。
【住まいづくり応援事業】
住宅を建設、購入される方を対象に、住宅ローンの当初5年分の利子相当額の半額（80万円を上限）を助成します。※詳細は県ホームページをご覧ください。

お知らせ 国家公務員採用試験
人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施します。申込用紙の請求や受験資格などの詳しい内容については問い合わせてください。
【一種試験】大学卒業程度
●受付期間／4月1日（木）～8日（木）
●試験日／5月2日（日）
【二種試験】大学卒業程度
●受付期間／4月12日（月）～21日（水）
●試験日／6月20日（日）
【三種試験】高校卒業程度
●受付期間／6月22日（火）～29日（火）
●試験日／9月5日（日）
●問合せ／人事院東北事務局第

募集 自衛官を募集します
募集種目／幹部候補生
●受付期間／4月1日（木）～5月10日（月）
●受験資格／20歳以上26歳未満の方（22歳未満の方は大学卒業または大学卒業見込みの方）
●身分／特別職国家公務員
●試験日／5月15日（土）・16日（日）
●申込み／自衛隊横手地域事務所 ☎32・3920

情報

information

講座 基金訓練パソコンスキル
求職者向けとして約三カ月間、パソコンの基礎からワープロ・表計算ソフトの操作、ネットワーク活用等の講習を行います。
●日時／4月26日（月）～7月13日（火）、午前9時～午後3時50分
●場所／しすてむ工房（外ノ目）
●参加費／無料（テキスト代別）
●定員／20人（面接等により選考）
●対象／ハローワークに求職申し込みされている方で、ハローワークにおいて基金訓練の

秋田スギの家づくりセミナー開催
地域の木材で家を建てる意義、秋田スギを使用した家の良さを一緒に考えてみませんか。
●日時／3月12日（金）午後3時～
●場所／横手セントラルホテル
●対象／一般市民、建築関係者等
●定員／50人（参加無料）
●申込み／「横手・木の家づくりをすすめる会」事務局（横手市森林組合内）☎53・2283

お知らせ 労働基準監督官採用試験
●受験資格／◎昭和56年4月2日から平成元年4月1日生まれの方、◎平成元年4月2日以降生まれの方で①大学を卒業した方および平成23年3月までに大学を卒業する見込みの方②人事院が①と同等の資格があると認める方
●受付期間／4月1日（木）～14日（水）
●第1次試験日／6月13日（日）午前8時45分～
●試験場所／秋田合同庁舎
●問合せ／秋田労働局総務部総務課 人事係 ☎018・862・6681





図書館ホームページ（利用案内・蔵書検索・予約など）
http://www.city.yokote.lg.jp/kakuka/toshokan/library_introduction.jsp
 ■問合せ 雄物川(中央)図書館 ☎22-2300 または最寄りの図書館まで

●今月の一冊

にんげん万歳！～愛と哀の人形世界～

高橋まゆみ＝著／清流出版

本書に掲載されている写真は、表情豊かな人形に故郷を感じさせる背景が組み合わさっており、疲れた心を大いに癒してくれる作品です。

著者の全国巡回人形展では、人形に話しかけている方も珍しくないそうです。見る人の心に入り込んでくるような人形たちに、様々な感情を呼び起こされるのかもしれません。

作品ごとに掲載されているエッセイにも、共感できる部分が多く、日頃の慌ただしい生活を忘れさせてくれる安らぎの一冊です。



【横手図書館】

●新着図書の紹介

一般向け

- 新・がん50人の勇気／柳田邦男〔平〕
- 宇宙飛行士になった子どもたち／杉山由美子〔十〕
- 有機的建築／フランク・ロイド・ライト〔森〕
- 雪山の基本～バックカントリーの新定番～／中山建生〔雄〕
- お米と野菜をおいしく食べる農家の知恵袋／アスコム出版〔横〕
- 神の器／申翰均〔増〕

児童向け・絵本

- 15歳の日本語上達法／金田一秀穂〔増〕
- ごうた、1年生でしょっ／すとうあさえ〔横・雄〕
- ムーミンのふしぎ／トーベ・ヤンソン〔平〕

●おはなし会（会場は各図書館）

- ・3月7日(日)午前10時30分／横手
- ・3月13日(土)午前10時30分／十文字
- ・3月20日(土)午後2時／増田
- ・3月21日(日)午前10時30分／雄物川・大森

●新図書館システムの試験運用が始まりました

市内全ての図書館を、1枚の図書館利用カードで利用できるようになりました。新カードへの切り替えには、現在お持ちの各図書館利用カードと、名前などが確認できる運転免許証・健康保険証などが必要です。来館の際にお持ちください。



えがおの交差点

フラダンスサークル(山内) プルメリアキッズ



母親たちが通うフラダンスサークルについて行くうちに、「私たちも一緒に踊ってみたい」そんな子どもたちの思いをかなえ、昨年4月に結成されたプルメリアキッズ。ハワイアンミュージックに合わせ、歌詞の内容を手話で表現し、ステップしながらゆったりと踊るフラダンスに夢中です。

現在、園児から小学生までの女子12人が所属。芸術文化祭などの発表に向けて、楽しく踊ることを第一に、岩瀬ふれあい館で月3回(木曜日)、午後4時30分から約1時間練習に励んでいます。

「カラフルな衣装を着てステージ発表をするのが楽しみです」と元気に話す子どもたち。代表の百合川さんは「まだ3曲しか踊れませんが、子どもたちの練習の目標となるので、ステージで発表する機会を待っています。表現力を養い、リラックス効果のあるフラダンスと一緒に踊ってみましょう。見学大歓迎です」と話していました。

◆問合せ 山内生涯学習センター ☎53-2187

「いつも笑顔を大切に、大きな声であいさつすることを心がけています」とほほ笑む安田さんは、横手セントラルスポーツに勤務しています。

一昨年12月の入社以来、かわいがってくれる顔なじみのお客様も増えてきたという安田さんは、職場では主に受付を担当。「最後まで気持ちよく施設を利用していただくのが私の役目。お客様に合わせた細やかな対応ができるようにがんばりたいです」と元気に語ってくれました。

◆自分の長所は？

明るくて、めげないところです。特に明るさは親譲り。自分が落ち込んでもいつも元気をくれる家族にとっても感謝しています。

◆休日の過ごし方は？

ドライブしながら景色を眺めるのが好きです。横手城やアップルロードから見下ろす広々とした横手の風景を気に入っています。

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式でご紹介します。安田さんは、前回の島田さんからのご紹介です。



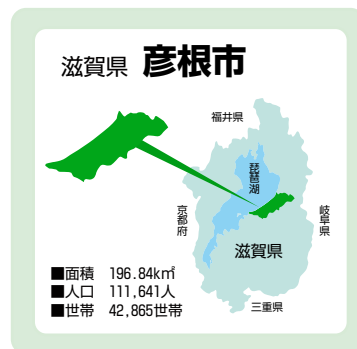
安田 さやかさん

やすだ さやか(23歳・大森)

思えば遠くへ来たもんだ

小松 文宏さん

こまつ ふみひろ(66歳・横手)



創業130年の老舗呉服店『小運』(四日町)を、妻の良子さんと、息子の孝則さんとともに守り続ける文宏さんは滋賀県彦根市の出身です。良子さんは、東京都で呉服関係の仕事をしていたときに知り合い結婚。良子さんの実家である『小運』を継ぐため、昭和46年に横手に移り住みました。

横手には雪が多いところだとは知っていたものの、聞くところでは大違い。『48豪雪』のときには道路の雪かきが増し、車のタイヤが目の高さを行き来する光景が、今でも強く印象に残っているそうです。取材をしていると、ちょうどお客様が来店。親身になってもてなす家族3人の姿とお客様の笑顔から、地域に愛される老舗のあたたかさを垣間見ることができました。

「息子が家業を継ぐと言ったときは複雑な思いもありましたが、私が受け継いできた伝統や呉服の基本と、息子の新しい発想を合わせて一緒にがんばっていききたいと思っています」と語る文宏さん。その言葉の中には、いつまでも職人であり続けたいと願う文宏さんの強い信念がありました。



アソカ保育園(横手) ふじ組のおともだち

あたごキッズ(横手)のおともだち

休館日
お出かけ前にご確認ください

横手図書館	3月3・10・17日
増田図書館	3月1・8・15日
平鹿図書館	3月2・9・16日
雄物川図書館	3月3・10・17日
大森図書館	3月2・9・16日
十文字図書館	3月3・10・17日
山内図書館	3月6・7・13・14日
大雄図書館	3月1・4・8・11・15日

☆新図書館システムが導入されました。
新しく【全館共通の利用カード】が必要になります。切り替え手続きをお願いします。
詳しくは最寄りの図書館へ。

雄物川資料館	3月1・8・15日
ゆっぷる	3月17日
えがいの丘	3月1・8・15日
三吉山荘	3月2・9・16日
大森健康温泉	3月1・8・15日
ゆとりおん大雄	3月4・18日
南部シルバーエリア	3月1・8・15日
健康の駅トレーニングセンター	
東部	3月3・10・17日
西部・南部	3月6・7・13・14日
子どもと老人のふれあいセンター	3月1・8・15日

診療所

【増田地域】
増田町診療所(耳鼻咽喉科)
診 療 日 3月3・10・17日(水)
診療時間 14:00～15:30
【雄物川地域】
えがいの丘診療所
診 療 日 3月3・10・17日(水)
診療時間 14:30～15:30
大沢診療所
診 療 日 3月8日(月)
診療時間 13:30～14:30

献血日程

月日・地域	実 施 場 所	実施時間	種類
3月2日(火) 横 手	(株)アイ・クリエイト	10:00～11:00	全 血
	阿部組	12:20～13:00	
	秋田県南トラック事業協同組合	13:30～14:30	
	やすらぎの苑	14:45～16:00	
3月7日(日) 横 手	横手サティ (ふれあい献血キャンペーン)	10:00～12:00	
		13:00～16:00	
3月10日(水) 雄物川	西山製作所(株)秋田工場	10:00～11:15	
	秋田ナイルス(株)	12:35～13:25	
	雄水苑	13:45～15:00	
	スーパーセンタートラスト雄物川店	15:20～16:30	
3月18日(木) 横 手	(株)ツルタック	10:00～10:40	
	羽後交通(株)本社	11:00～11:45	
	日貿産業(株) 横手工場	12:15～13:00	
	秋田銀行横手西支店	14:30～16:00	

乳児健診・予防接種
乳児健診・予防接種はお住まいの地域で受けてください

【横手地域】 ■場所 横手保健センター
1歳6か月児健診(平成20年8月生まれ)
日 時 3月4日(木) 受付12:30～13:15
3歳児健診(平成18年8月生まれ)
日 時 3月5日(金) 受付12:30～13:15
【増田地域】 ■場所 増田地区多目的研修センター
4か月児健診(平成21年11月生まれ)
日 時 3月17日(水) 受付12:50～13:00
7か月児健診(平成21年8月生まれ)
日 時 3月17日(水) 受付12:40～12:50
12か月児健康相談(平成21年2月～3月生まれ)
日 時 3月17日(水) 受付9:45～10:00
【平鹿地域】 ■場所 ゆとり館
1歳6か月児健診(平成20年7月～8月生まれ)
日 時 3月5日(金) 受付12:50～13:10
3歳児健診(平成18年7月～8月生まれ)
日 時 3月10日(水) 受付12:50～13:10
【雄物川地域】 ■場所 雄物川保健センター
4か月児健診(平成21年10月生まれ)
日 時 3月4日(木) 受付12:40～12:45
7か月児健診(平成21年7月生まれ)
日 時 3月4日(木) 受付13:00～13:15
12か月児健康相談(平成21年2月生まれ)
日 時 3月4日(木) 受付14:00～14:10
2歳児歯科健診(平成19年8月～9月生まれ)
日 時 3月10日(水) 受付13:00～13:15
3歳児健診(平成18年7月～8月生まれ)
日 時 3月5日(金) 受付13:00～13:15
【大森地域】 ■場所 大森町高齢者等保健福祉センター
2歳児歯科健診(平成19年8月～9月生まれ)
日 時 3月11日(木) 受付12:00～12:15
3歳児健診(平成18年7月～8月生まれ)
日 時 3月17日(水) 受付12:00～12:15
【十文字地域】 ■場所 幸福会館
7か月児健診(平成21年7月生まれ)
日 時 3月4日(木) 受付12:50～13:20
2歳児歯科健診(平成19年9月～10月生まれ)
日 時 3月16日(火) 受付12:50～13:20
【山内地域】 ■場所 横手保健センター
1歳6か月児健診(平成20年8月生まれ)
日 時 3月4日(木) 受付12:30～13:15
3歳児健診(平成18年8月生まれ)
日 時 3月5日(金) 受付12:30～13:15
【大雄地域】 ■場所 大森町高齢者等保健福祉センター
2歳児歯科健診(平成19年8月～9月生まれ)
日 時 3月11日(木) 受付12:00～12:15
3歳児健診(平成18年7月～8月生まれ)
日 時 3月17日(水) 受付12:00～12:15

休日当番医

【診療時間】9:00～12:00(午前中のみ)			
3月7日(日)	胃腸科内科高橋クリニック	赤 坂	☎36-2711
3月14日(日)	雄物川クリニック	雄物川	☎22-5511

相談

【市内全地域対象】
無料税務相談 ■場所 横手市社会福祉協議会
日 時 3月11日(木) 9:30～12:00
問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668
社会保険年金相談 ■場所 横手地域局1階相談窓口
毎週月曜～木曜日 10:00～12:00 13:00～15:00
問合せ 横手地域局1階相談窓口 ☎32-2111内線2182
【横手地域】
心配ごと相談 ■場所 横手市社会福祉協議会
日 時 3月4日(木) 9:30～12:00
問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668
行政相談 ■場所 横手地域局1階1番窓口(受付)
日 時 3月12日(金) 13:00～15:00
問合せ 横手地域局地域振興課 ☎32-2701
育児相談 ■場所 子育て支援センターなかよし
毎週月曜～金曜日 9:00～17:00
問合せ 子育て支援センターなかよし ☎32-6933
【増田地域】
心配ごと相談 ■場所 増田地区多目的研修センター
日 時 3月11日(木) 9:30～12:00
【平鹿地域】
心配ごと相談 ■場所 ゆとり館
日 時 3月3日・17日(水) 9:30～12:00
【雄物川地域】
心配ごと相談 ■場所 雄物川コミュニティセンター
日 時 3月10日(水) 9:30～12:00
行政相談 ■場所 雄物川保健センター
日 時 3月15日(月) 10:00～12:00
【大森地域】
心配ごと相談 ■場所 大森コミュニティセンター
日 時 3月9日(火) 9:30～12:00
行政相談 ■場所 大森コミュニティセンター
日 時 3月9日(火) 13:30～15:30
健康相談・栄養教室 ■場所 大森健康温泉
日 時 3月9日(火) 10:00～11:00
【十文字地域】
心配ごと相談 ■場所 幸福会館
日 時 3月5日(金) 9:30～12:00
【山内地域】
心配ごと相談 ■場所 山内福祉センター(ゆうらく館)
日 時 3月2日・16日(火) 9:30～12:00
【大雄地域】
無料法律相談 ■場所 大雄福祉センター
日 時 3月8日(月) 10:00～12:00(要予約)
問合せ 大雄福祉センター ☎52-3311
心配ごと相談 ■場所 大雄福祉センター
日 時 3月12日(金) 9:30～12:00

●平鹿総合病院 日曜夜間小児救急外来☎32-5124	
【受付時間】18:00～21:00 【診療時間】18:30～21:30	
3月7日(日)	無江医師(醍醐クリニック)
3月14日(日)	石橋医師(石橋小児科医院)



巧

たくみ Vol. 52

野菜づくり

体に染みついた伝統の技法 安全安心な新鮮野菜へのこだわり

〃八木にんにく、で知られる増田・八木地区は昔ながらの野菜どころ。そこで巧は、15年以上にわたり野菜の通年出荷に取り組んでいる。

1メートルほど積もった雪を掘り下げると、瑞々しいキャベツや白菜が顔をのぞかせた。雪の中に埋もれている野菜は、まるで寄り添って寒さを凌ぐ家族のようにも見えるが、互いを支え合うことで畑にあった時と同じように、立った状態で雪の下から現れる。巧は、野菜を掘り起こすと手際よく根を切り落とし、表面の傷んだ葉を取り除いていく。

〃野菜の雪中貯蔵、は、かつては八木地区のほとんどの農家で行われていたという。およそ7、8割に結球した野菜を、根付きの状態に畑に並べて雪が降るのを待つ。「体に染みついたやり方で特別なことではない」と巧は言うが、畑を移し替える伏せ込みの時期は、木枯らしが吹く寒さに加えて雨も多く、見極めはまさに自然とのたたかい。近年は、温暖化の影響で雪の降り方、積もり方も変わってきているため、それに対応する技術も求められている。

現在は、大手スーパーとの契約で野菜を計画的に直売している。家族経営ながら、多くの仲間との連携で、収穫期や出荷の時期量がダブらないように調整している。出荷の際は、ラベルに必ず品種を記載して消費者への情報提供も怠らない。「特に冬場は地物の新鮮な野菜が喜ばれる。お客さんから電話や手紙をもらおうと励みになる」と話す言葉の奥には、伝統の技法を守りながら、安全で安心な新鮮野菜を提供し続けたいという信念がある。

お客さんの「新鮮でおいしかった」
という声は何よりの励みになる。



佐藤 久夫さん(59歳・増田)

さとう ひさお
昭和25年、旧増田町生まれ。地元の中学、高校を卒業後、家業の農家を継ぐ。26歳のとき、父親の農協理事就任を契機に農業に専念し、野菜の通年出荷に着手。増田地域で唯一の八木集落営農組合や、直売グループ「茶恋士(ちゃれんじ)」にも参加して、仲間とともに精力的に農業経営に取り組んでいる。



市報よこて 読者プレゼント

今月のプレゼント

秋大生が大根栽培から
手がけたいぶりがここ



秋田大学の学生が、
本場山内で大根の栽培
からいぶし、漬け込み、
商品化まで、すべてを
手作りしたいぶりがつ
こ「いぶりばでい」を
一本ものと短冊状にしたものを
セツトに
して15名
様にプレ
ゼントし
ます。

【提供】秋田大学横手分校
応募方法
☎38・8304

「読者の声」のおたよりには、郵便番号、住所、氏名、年齢と発行号(3月1日号)を明記してお送りください。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

締め切りは 3月25日(消印有効)

あとがき

山神社を訪れるのは初めてで、参道がどれくらい道のりかも分からず登り始めたが、前後からの寒さもあり雪道はまるで砂浜のよう。踏ん張りが利かず、予想外に足が進まない。息を切らしながら神社にたどり着いて一息つくとな、一瞬足がつり気味に…。運動不足を恨みつつ撮影を終え、帰る際「今年は体力をつけた」と神社に一礼した。その翌日は気力も体調も万全だったが、さらにその翌日の今日は朝から体が痛い…。(篤志)

ふれあい 語り合い



読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声をお寄せください。

秋田は白雪の季節ですね。四季を通じて田舎の風景と食べ物を出してなつかしく思っています。帰った時はふるさと村へ行って干し餅やいぶりがっこ、味噌などを買って送ります。近所の方に分けてあげたり、子ども達にも送ったりします。きざみ昆布、山ウドウジュースも大好きです。しみじみ思うのは山内のふるさとのこと。思うだけで幸せです。今年は孫と一緒に帰ります。
(佐藤ノブ子さん・大阪府)

「市報よこて」を楽しみに読ませてもらっています。ふるさとの皆様が頑張っている様子を知ると、私も元気がでます。1月中旬、茨城県那珂市に横手の雪が運ばれ「かまくら」の出前がありました。那珂市は横手城の城代であった戸村氏の出身地であり、横手市とは友好都市となっています。当日は横手の特産物も販売され、元氣な親子連れで賑わいました。私も何十年ぶりかで生のかまくらを見て子どもの頃を思い出しました。寒さが続きますが、ふるさとの皆様、お元気で！
(川崎昇三さん・66歳・茨城県)

結婚して横手に来て、去年愛娘が生まれました。慣れない土地での育児に不安もありましたが、市報を毎回チェックしたり、ママ友と情報交換したりして、なるべくいろんなサービスを利用するようにしています。間もなくひな祭り。初節句に向けて実家から娘が着るための着物が届きました。まだまだ寒い毎日ですが、我が家には一足先にパッと花が咲いたような暖かい春が訪れた気分です。
(ひーたんさん・25歳・横手)

厳冬の2月に1週間ほど帰省しました。夜行高速バスを利用し、早朝に新しい横手バスターミナルに着いたのですが、実家がある大雄方面へのバスの始発まで、まだ2時間ありました。そこで、かまくらの舞台となる横手南小学校まで歩いてみることにしました。横手川の水が空気を洗い清めているかのような音を立てて流れているのが印象的でした。滞在中は、毎日最寄りの市立図書館で過ごしましたが、幅広い世代に利用されていることがわかりました。ただ、雪の残る路面での自転車通いは危険と隣り合わせ。やはり雪のない季節に帰省して利用する方がよかったです。

今年も十文字映画祭が近づいてきました。「白鳥の歌」のエキストラの1人として参加しました。1本の映画を作るのにたくさんの人と何回も何回もOKが出るまでテストをしました。スワンコーラスの皆さんとも初めての出会いでした。素晴らしいコーラスに出会い、色々なことが勉強できたひと月でした。映画の上映楽しみにしています。
(T・Kさん・72歳・十文字)

おたよりお待ちしています

読者の声「たより」は、読者の皆さんのページです。市への意見や市報の感想などを、はがきや封書、ファクスで左記のあて先までお送りください。おたよりには、必ず住所、氏名、年齢、連絡先をご記入ください。(市報に掲載する場合にペンネームがインシヤルを希望する方は、氏名の後に記入してください)
なお、おたよりをくださった方の中から、抽選で『読者プレゼント』の商品を差しあげています。プレゼントの応募方法は23ページをご覧ください。

「たより」のあて先
〒013・8601
横手市条里二丁目1番64号
横手市役所市長公室 広報広聴担当
あて 013・6061
(「たより」と明記ください)

※ご記入いただいた個人情報、記載内容の確認および商品の発送の目的に使用し、この目的以外には使用しません。

と思いました。

(E・Sさん・55歳・千葉県)

イ

Event Calendar

イベントカレンダー

3月1日～3月17日

3/ 1
(月)

『ひな人形展』開催中！

明治から戦前までの押絵雛や古今雛、市指定文化財の享保雛などを展示しています。

◆期 間／3月28日(日)まで
※3/22を除く月曜日と3/23は休館

◆時 間／9:00～16:30

◆場 所／雄物川郷土資料館

◆入場料／大人100円、高校・大学生50円、小中学生無料

◆問合せ／雄物川郷土資料館 ☎22-2793



2
(火)

3
(水)

4
(木)

5
(金)

6
(土)

市民医学講座(14:00～、かまくら館)

7
(日)

8
(月)

9
(火)

10
(水)

11
(木)

12
(金)

13
(土)

大鳥井山遺跡公開講座(10:00～15:00、かまくら館、展示会は9:00～16:00)

14
(日)

平鹿町ゆとり館感謝祭

◆期 間／3月14日(日) 11:00～14:00

◆場 所／平鹿町ゆとり館

◆内 容／芸能発表、『みよし夢乃』歌謡ショー、お楽しみ輪投げ大会、豚汁・おにぎり無料サービス(限定200食)

◆入館料／大人300円、子ども(6～11歳)150円

◆問合せ／平鹿町ゆとり館 ☎24-0007

17
(水)

親子でどうぞ～南部シルバーエリア無料映写会

◆上映時間／午後1時～

7日(日)「名探偵コナン 探偵たちの鎮魂歌」
[169分]

14日(日)「それいけ！アンパンマン 夢猫の国のニャニィ」
[50分]

◆問合せ／南部シルバーエリア(大森町) ☎26-3880

手でみる彫刻展

Touch it! (タッチ イット!)

■4月18日(日)まで開催中

美術館にある彫刻作品は普段は目だけで鑑賞しますが、実際にさわってみたいと思ったことはありませんか。本展ではブロンズ、石、木やテラコッタなど約40点の彫刻作品を肌で感じながら鑑賞することができます。

手でみることで広がる新鮮な彫刻の世界を、ぜひお楽しみください。

◆期 間／4月18日(日)まで

◆時 間／9:30～17:00

(入館は16:30まで)

◆場 所／県立近代美術館

◆入場料／無料



※テラコッタ：西洋彫刻に用いられる焼いた粘土

ギャラリーツアー

県立近代美術館の学芸員が彫刻展をご案内をします。

●日時／3月22日(月) 14:00～

●場所／県立近代美術館5階展示室

◆問合せ／県立近代美術館 ☎33-8855

Pick Up!!

横手市初の国指定史跡へ

大鳥井山遺跡公開講座・展示会

■3月13日(土)



大鳥井山遺跡は、横手市街地北部に位置する居館(大名・豪族などの屋敷)跡で、前九年合戦・後三年合戦を記した文献に現れる清原氏に関連する遺跡の内容を具体的に知ることができる貴重な例として、平成22年2月22日に国指定史跡に指定されました。これに合わせて、大鳥井山遺跡を探索する公開講座と展示会を開催しますので、ぜひご来場ください。

◆期 日／3月13日(土)

◆入場料／無料

【公開講座】

◆時 間／10:00～15:00

◆場 所／かまくら館2階ホール

◆内 容／①国史跡大鳥井山遺跡

②金沢柵と沼柵

③秋田城跡と大鳥井山遺跡

④弘田柵跡と大鳥井山遺跡

◎座談会・展示解説



大鳥井山頂部で確認された掘立柱建物跡

【展示会】

◆時 間／9:00～16:00(公開講座で使用中は閉鎖します)

◆場 所／かまくら館5階研修室

◆問合せ／市教育委員会文化財保護課 ☎24-3480

市報よこて

2010年(平成22年)
3月1日号
(No.106)

発行／横手市役所 ☎0182-35-2111(代)

編集・デザイン／総務企画部 市長公室

〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号

TEL:0182-35-2162 FAX:0182-33-6061

ホームページアドレス／<http://www.city.yokote.lg.jp/>